

原単位の改善のための取組に関する状況【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

弘南鉄道株式会社
(konanetsudo Corporation)

| | |
|-------|---------------|
| 銘柄コード | |
| 法人番号 | 8420001010056 |

| 日本標準産業分類 | コード | 項目名 |
|---------------|--------------|-------|
| 中分類 | 42 | 鉄道業 |
| 細分類 (申請事業) | 4211 | 普通鉄道業 |
| エネルギー管理統括者 | 【役職】 【氏名】 | 該当なし |

【エネルギーの使用の合理化】

| | | | | | |
|---|------------|-----------------|------------|------------|------------|
| 主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績) | 9.48 | 原単位分母 | | | |
| | 100.0 | % 主たる事業の構成割合 | | | |
| 事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
| | 98.9 | 93.0 | 94.4 | 105.9 | |
| 事業者全体の 5年間平均原単位変化(%) | 101.0 | | | | |

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

| | | | | | |
|---|------------|------------|------------|------------|------------|
| 主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績) | 原単位分母 | | | | |
| | 該当なし | | | | |
| DR実施日数 | 該当なし | | | | |
| 事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
| 事業者全体の 5年間平均原単位変化 | | | | | |

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

| | | |
|-------------|---------|---|
| ベンチマーク区分 | | |
| 目指すべき水準 | kWh/t以下 | |
| ベンチマーク指標の状況 | | |
| ベンチマーク区分 | | |
| 目指すべき水準 | kWh/t以下 | |
| ベンチマーク指標の状況 | 該当なし | |
| ベンチマーク区分 | - | - |
| 目指すべき水準 | - | |
| ベンチマーク指標の状況 | - | |
| ベンチマーク区分 | - | - |
| 目指すべき水準 | - | |
| ベンチマーク指標の状況 | - | |

| | | | | |
|------------------|--------|----|-----|-----|
| エネルギー総使用量 | 24,287 | GJ | 627 | kWh |
| 前年度エネルギー 総使用量 | | | 547 | kWh |
| 非化石エネルギー 総使用量 | 7,383 | GJ | 190 | kWh |
| 調整後温室効果ガス 排出量 | 該当なし | | | |

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

| |
|------|
| 該当なし |
|------|

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
省エネの取組みとして、運行速度の見直しをし、エネルギー使用を減らす取組を行っております。また、車内の室内灯をLED化しCO2削減を図っております。
使用率を減らす対策として、車両更新等を計画し効率の良い電力使用に努めて行く予定です。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
使用する電気は、全量電気事業者からの買電であるため、電気の非化石化率は電気事業者の非化石化率に依存する。そのため、主たる事業における電気の非化石化率を高めるには、電気事業者である東北電力の電力メニューにおいて環境配慮型プランの導入が図られた場合は、連携して行って行きます。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
該当なし

2. 関連リンク
:

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。